

高品質と経済性の追求 4・5・6G-200M-E方式

Pursuit of high quality and cost efficiency: 4・5・6G-200M-E system (since 1989)

4・5・6G-200M方式と同じ16QAM変調、伝送容量200Mbps。

同等の経済性を維持しつつ、より高い品質を実現した。そのため、マルチキャリア伝送とともに、

端局～端局間で誤り訂正(FEC)を行い品質を改善した。スペースダイバシチでは、回路

部品の小型化で各搬送波の個別同相合成機能を1装置に集約し、

3面アンテナによるSD合成をオプションとした。周波数の利用効率を高めるために

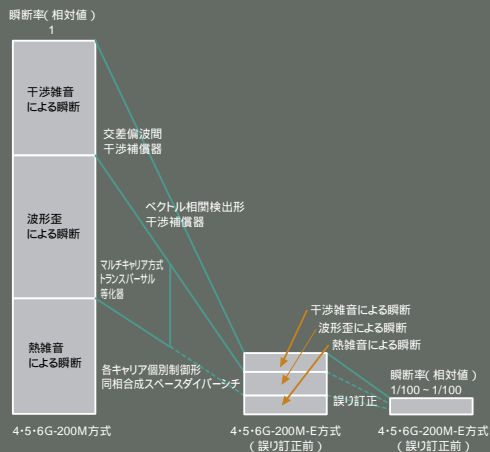
垂直水平両偏波に同じ周波数を使用(コチャネル配置)、交差偏波間の干渉を

抑圧する交差偏波干渉補償器(XPIC)も標準装備している。

200Mから200M-Eへ 高品質化への主要技術の寄与。

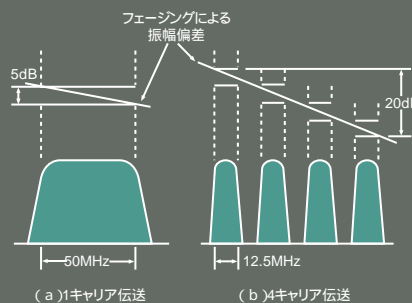
Transition from 200M to 200M-E:

Contribution of key technologies to high quality

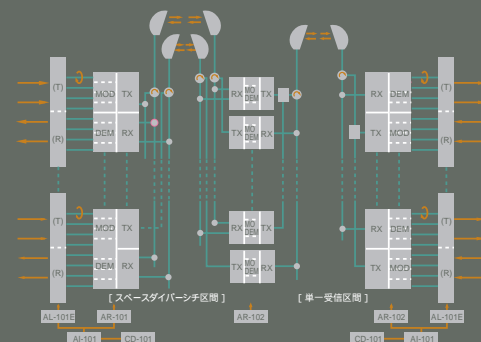


マルチキャリア伝送の効果 200Mbpsを4搬送波で伝送して 1搬送波当たりの波形ひずみを緩和。

Effect of multi-carrier transmission:
Alleviating the waveform distortion per carrier by
transmitting at 200 Mbps over four carriers



4・5・6G-200M-Eの構成 4・5・6G-200M-E configuration



AC: 面線切替装置
AL: 面線切替制御装置
AR: 遠隔監視制御装置
A I: システム接続装置
CD: 監視制御装置
MOD: 変調器
DEM: 復調器
MODEM: 変復調装置
TX: 送信機
RT: 受信機